

報道関係各位

2023年5月30日
株式会社クロス・マーケティング

生成AIサービス「ChatGPT」が、認知・利用経験ともに突出 AIに代替されると思う職業「財務会計」「小売りの店員」

－生成AIに関する調査（2023年）浸透状況編－

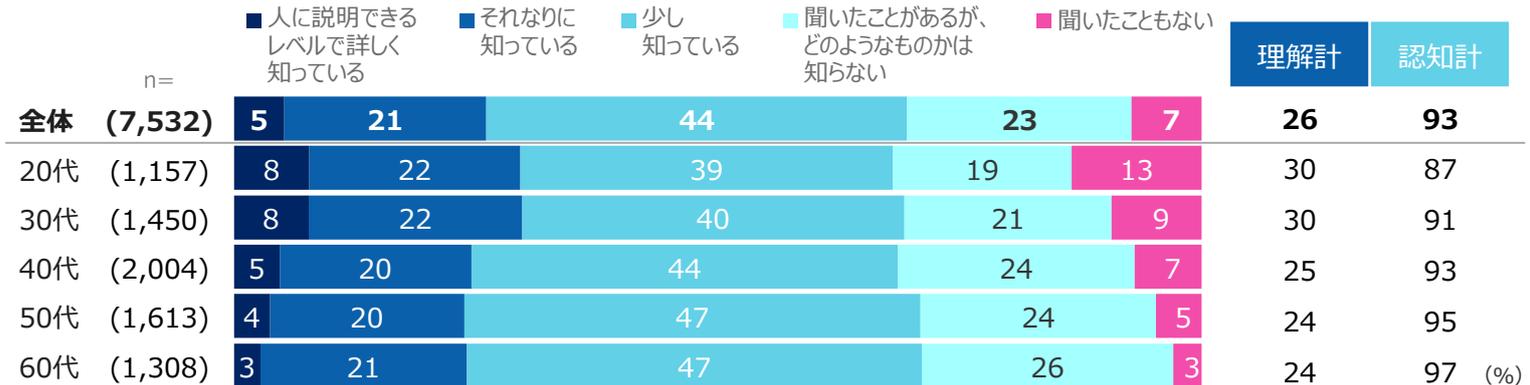
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、2023年5月、全国20～69歳の男女有職者7,532名を対象に「生成AIに関する調査（2023年）」を行いました。発展が著しいAI（人工知能）、これからも市場規模は拡大し、参入企業も増えると思われます。今回は浸透状況編として、AI・生成AIの認知度、利用状況、AIにとってかわられる／とってかわられない職業などを分析しました。

■ 調査結果（一部抜粋）

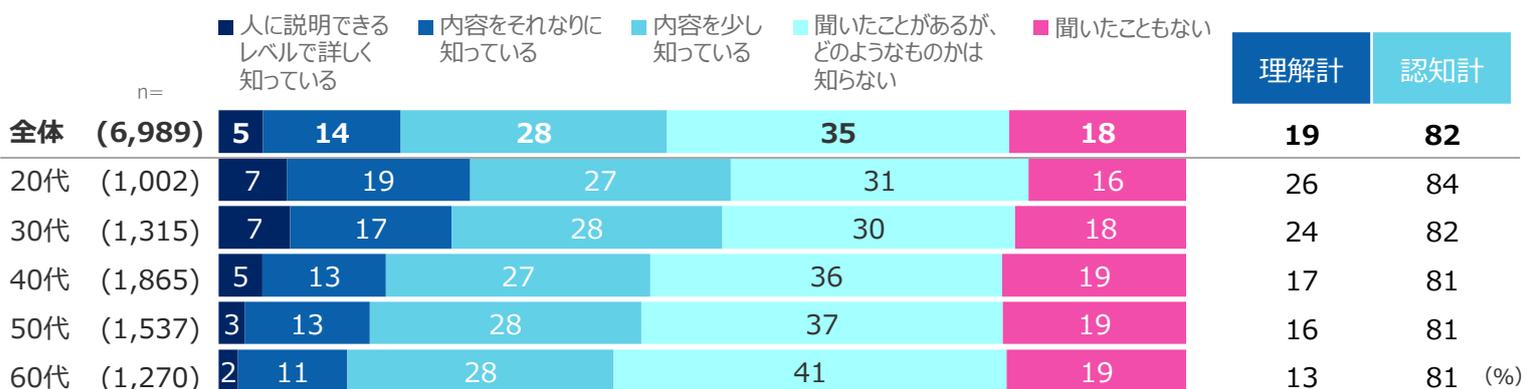
- ✓ **【AI認知度】** フルタイム有職者におけるAI（人工知能）の認知率は93%、年代が上がるほど認知率は高まる。理解率（人に説明できる＋それなりに知っている）は26%であり、若い世代ほど理解率は高い。＜図1＞ AI認知者に、生成AIの認知状況を確認した。認知率は82%であり、年代による大きな差はない。理解率（人に説明できる＋内容をそれなりに知っている）は19%であり、20～30代の理解率は他年代より高い2割半ばであった。＜図2＞
- ✓ **【AIによる職業代替】** 生成AI認知者に、31職業を提示しAIにとってかわられる／とってかわられない職業を聴取し、とってかわられる／とってかわられない職業の差分の高い職業をピックアップした。“とってかわられると思う職業”の上位は「財務・会計・経理」「一般小売店の定員」が2割台、次いで「データサイエンティスト」「運転手」「システム・サイト保守運用」であった。一方、“とってかわられないと思う職業”では、「農業・漁師」「医者・看護師・歯科衛生士」で2割台、次いで「介護士」とエッセンシャルワーカーが多くあがった。＜図3＞
- ✓ **【生成AIサービスの認知・利用状況】** 生成AI認知者の中で、会社で生成AIが導入される可能性のあるホワイトカラーに限って、サービスごとの利用状況を確認した。メディアでも話題になっている「ChatGPT」の認知率は78%、利用経験は39%と他サービスに比べ突出して高い。次いで「Bing AI」「Bard」と続く。＜図4＞「ChatGPT」の認知・利用の構成を確認したところ、「現在主に利用している」は27%であり、2022年11月公開から半年あまりで3割近くになっていた。＜図5＞

◆詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/it/20230530AI/>

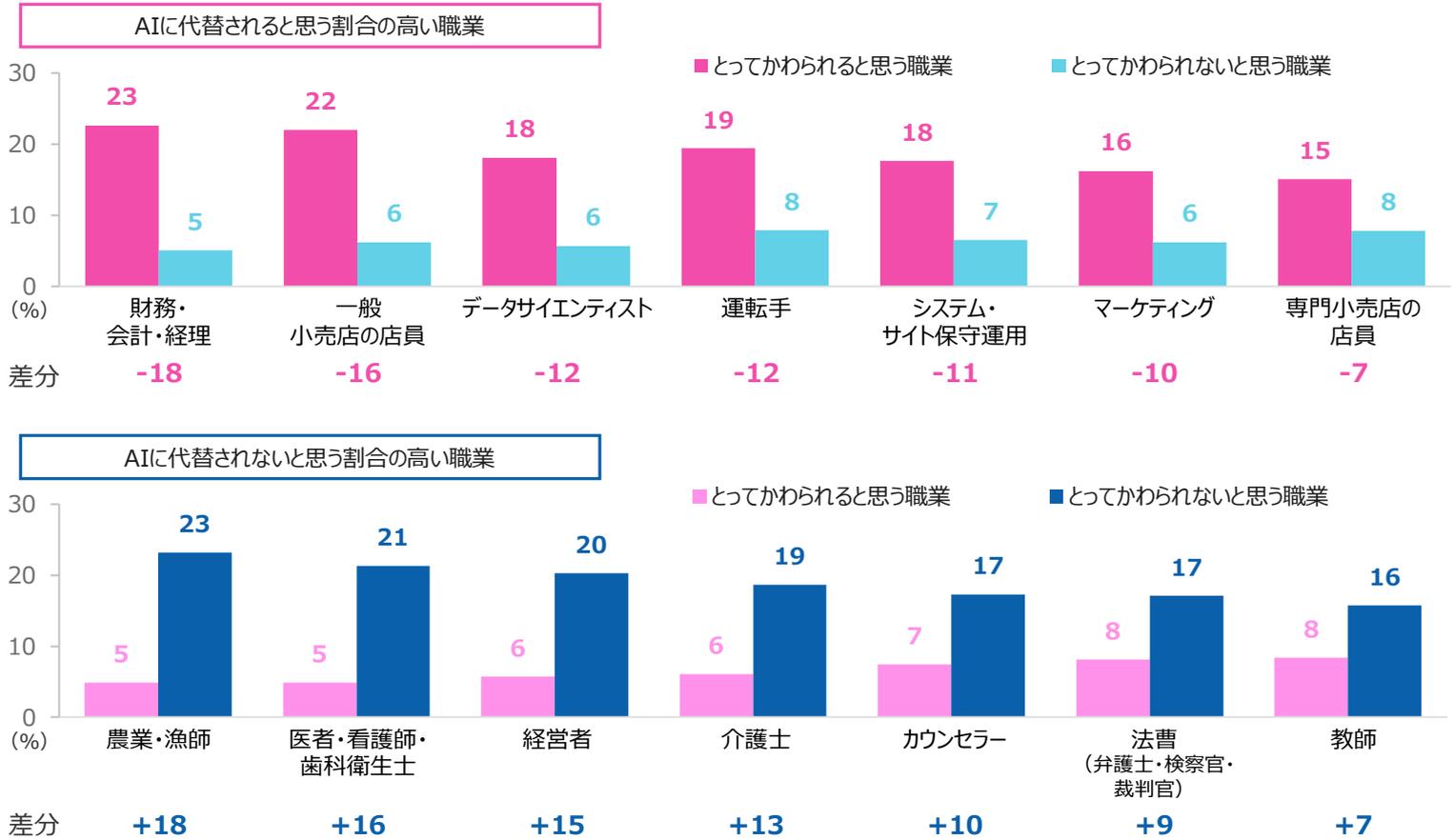
＜図1＞ AIの認知度（単一回答）



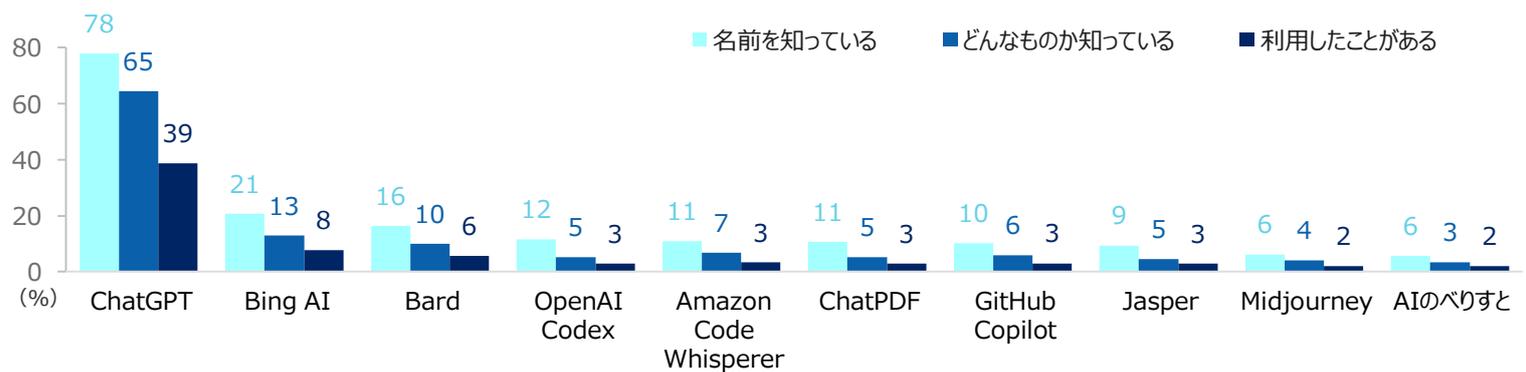
＜図2＞ 生成AIの認知度（単一回答） ※ベース：AIについて聞いたことがある人



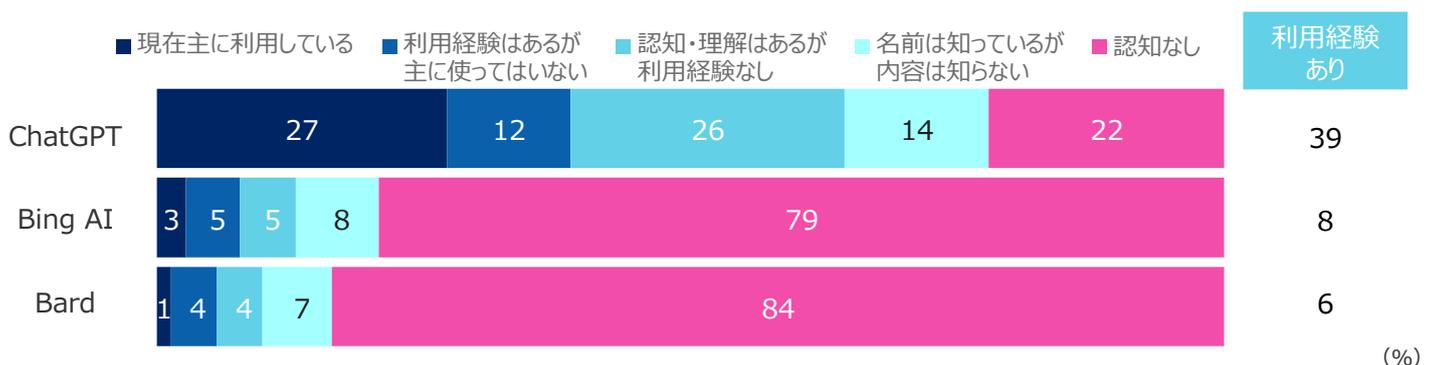
<図3> AIによる職業代替（複数回答：n=6,989）※ベース：AIについて聞いたことがある人
 ※31職業のうち、「とってかわられると思う職業」と「とってかわられないと思う職業」の差が±7pt以上の項目を抜粋し、小数点第一位までの差分の多い順に並び替え



<図4> 生成AIサービスの認知・利用状況（複数回答：n=1,345）
 ※ベース：ホワイトカラー・生成AI認知者/20項目のうち認知率上位10項目を抜粋



<図5> 生成AIサービス別認知・利用構成（単一回答：n=1,345）※ベース：ホワイトカラー・生成AI認知者



■レポート項目一覧

- 属性設問
(性年代/未婚/子ども有無/職業/職種/仕事で最も時間を使う作業/テレワーク頻度/業種/勤務企業規模/個人年収/IT関連スキル)
- 調査結果サマリー

▼調査結果 スクリーニング調査

- AI全般の認知・理解状況
- AI各サービスの一般浸透度（利用経験×認知度のマッピング）
- AI各サービスの認知/利用経験
- AIについて思っていること・感じていること
- 生成AI全般の認知・理解状況
- 「AIによって取って代わられる職業」・「取って代わられない職業」ランキング
- AIによる職業代替可能性の有無×共存可能性のマッピング
- AIによって取って代わられると思う職業
- AIによって一部は取って代わられるが、完全には取って代わられないと思う職業
- AIによって取って代わられないと思う職業
- 人間とAIが共存することになると思う職業

▼調査結果 本調査

- 「生成AI」各サービスの浸透度
- ChatGPT/Bing AI/Bardの認知・利用構成
- 生成AI各サービス認知/理解/利用経験/最頻利用

◆レポートのダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/it/20230530AI/>

■調査概要

調査手法	: インターネットリサーチ	調査期間	: 2023年5月12日（金）～5月15日（月）
調査地域	: 全国47都道府県	有効回答数	: スクリーニング調査 7,532サンプル 本調査 1,345サンプル
調査対象	: 20～69歳の男女 スクリーニング調査 フルタイム有職者 本調査 ホワイトカラー・生成AI認知者		※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
設立 : 2003年4月1日
代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

≪引用・転載時のクレジット表記のお願い≫

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」